

吾妻山砂防通信



第17号

えんてい



花びらが「大」の文字の形をしている
ダイヤモンドソウ(昨夏、天沼のへつりにて)です。
(荒川探訪会に参加すれば見られるかも?)

須川第2砂防堰堤が完成間近!

施工業者： 富久泉工業株式会社

工期： 平成22年8月10日～平成23年2月10日(3月下旬まで延期予定)

工事概要： 須川流域の砂防事業の一環として、阿武隈川水系須川において須川第2砂防堰堤工及び管理用道路工を行うものです。

工事状況写真(1月現在)

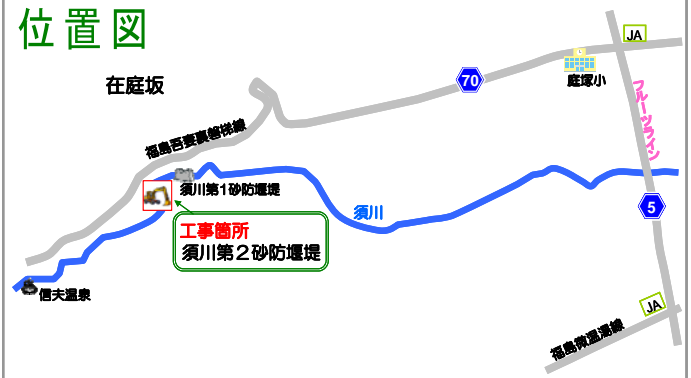


須川第2砂防堰堤の概要

堰堤の構造は、高さ14.5m、堤長の長さ86.0mの重量式コンクリートです。

構造形式は透過型(スリット)を採用し、平常時と中小洪水時は下流に無害な土砂を流して川の自然を保持します。大洪水時は、洪水を堰上げ減勢させて、大量に流れてくる土砂を一時砂防堰堤に貯留して下流地域の土砂災害を防ぎます。

位置図



現場代理人から一言



須川第2砂防堰堤工事を担当しています児玉です。
昨年8月より工事を開始し、砂防堰堤を作る工事を行っています。
無事故、無災害での工事完成へ向けて3月までの残り2カ月間、安全に工事を進めていきますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

北沢又小学校にて出前講座

5年生が河川や防災について学びました

12月9日(木)に福島市立北沢又小学校で出前講座を行いました。5年生116名の皆さんが参加しました。雪がちらつくあいにくの天気でしたが、松川を間近に見ながらの説明や土石流模型実験などで河川や防災について学びました。



松川の整備を進めています



川は流れる場所を
変えることがあります



土木遺産シンポジウム 2010 in 福島が開催されました



11月27日(土)にコラッセふくしまにおいて、土木学会の選奨土木遺産の認定を受けた「西根堰」の授賞式と「土木遺産をめぐる技術と交流」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。翌28日には「荒川」「西根堰」それぞれを巡る見学会も開かれ、選奨土木遺産に認定されている砂防堰堤や霞堤などの施設を見学しました。

荒川沿いを1400名が力走

第13回あづま荒川クロスカントリー大会

あづま荒川クロスカントリー大会は12月12日(日)県営あづま陸上競技場を発着点とし、荒川の河川敷や林間を駆け抜けるコースで開かれました。県内外から約1,430名が参加しました。

クロスカントリーのコースは、登録有形文化財である石積みの「地蔵原堰堤」やさらに上流にある「荒川遊砂地・大暗渠砂防堰堤」を渡る男子13kmが最長で、最短は小学校男女の2.3kmコースです。

まずは服部司福島河川国道事務所長がスターターを務め、小学校5・6年男女がスタート、その後、中学男女、高校男子、女子、一般男子など、順次各部門がタイムを競いました。



スターターを務める
服部事務所長



無事完走した荒川ランナーS
(国土交通省)のメンバー



大暗渠砂防堰堤を駆け抜ける

あづま荒川クロスカントリー大会に参加して…

昨年は3.8kmコースに参加しましたが、今年は6.5kmコースに挑戦しました。当日の天候は快晴で多少肌寒さはありませんでしたが絶好のコンディションの中、多くの声援を受けながら自然豊かなコースを走り抜け、無事完走することができました。地蔵原堰堤を走り抜けたときは水しぶきを受け爽快感を肌で感じる事ができました。ぜひ来年も参加したいと思います。:荒川ランナーS

お問い合わせはこちら
(ご意見・ご感想・砂防に関すること)

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)
〒960-2156

福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)
〒960-2261

福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

